

一般質問

教育問題について



本澤 節子 議員

火災・災害時のサイレン吹鳴と情報伝達・情報連携について



菊池 久光 議員

**質問**…昨年度市のいじめ認知数は小学校159人（前年比マイナス8人）中学校20人（前年比マイナス9人）、不登校は小学校25人（前年比+2人）中学校72人（前年比+5人）、暴力行為は小学校21人、中学校7人など、形態別、原因別など調査がなされたようです。これらの調査結果について、どう考えられ対処されたのか伺います。

**質問**…調査結果をゆゆしき問題と捉え、スクールカウンセラーの配置の拡大、学校教育相談員の研修を充実。早期的な解決が難しいケースもございいますが、引き続き努力してまいります。

**質問**…本年9月市内中学2年男子生徒が逮捕、罪名は強制わいせつ及び脅迫。市の対応について伺います。

**答弁**…被害者のケアを最優先に

**答弁**…調査結果をゆゆしき問題と捉え、スクールカウンセラーの配置の拡大、学校教育相談員の研修を充実。早期的な解決が難しいケースもございりますが、引き続き努力してまいります。

**質問**…市民の方から若い教師が生徒に対し、「おまえら、てめえら」呼ばわりしたり、恫喝するなど、教師によるいじめがあるとの声。どう対処されますか。

**答弁**…報告はございません。

**質問**…現在火災発生時や災害時、火災予防運動期間中に消防団員が手動で吹鳴している消防サイレンを無線での吹鳴にすべきかと考えますが、今後について伺います。

**答弁**…防災情報伝達システムにつきましても、電波法の改正に伴い、平成34年11月で現在市が使用している防災行政無線が使用できなくなることから、新たに

な情報伝達システムの整備を検討してきましたが、平成31年度から平成32年度の2カ年で携帯電話通信網利用による整備を行うこととし、平成31年度より予算計上をしております。ご質問のサイレン吹鳴につきましてもこのシステムに加えて整備することとしております。

**質問**…消防サイレンを含めた有事の際の情報伝達手段について

伺います。

**答弁**…有事の際の情報伝達につきましては、現在登録制メールの一斉送信と黒羽地区の防災行政無線による屋外拡声と個別受信としておりますが、新たな情報伝達システムの整備により、平成33年度以降は市内全域で登録メール、屋外拡声、個別受信により災害や市の情報を伝達してまいります。